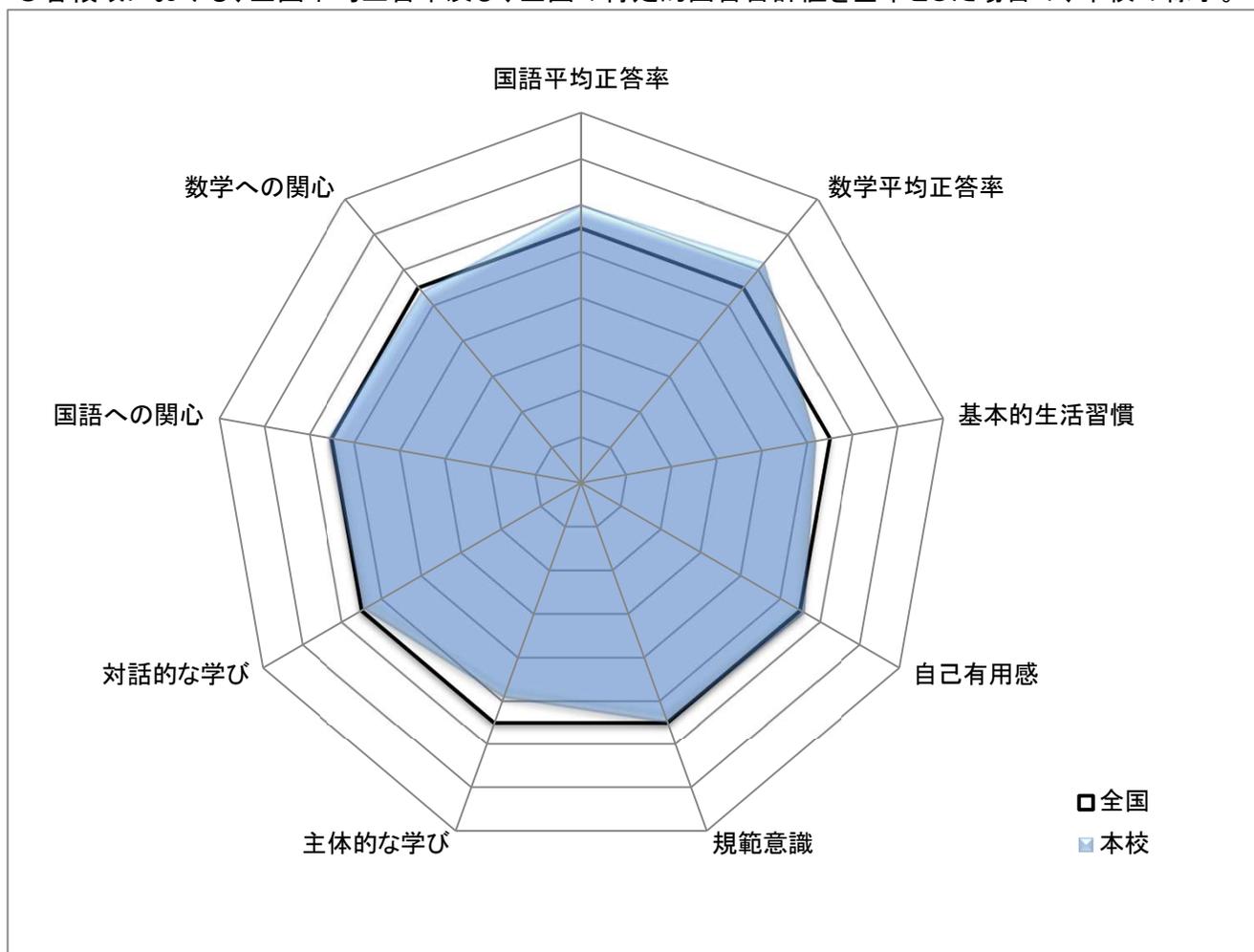


●各領域における、全国平均正答率及び、全国の肯定的回答合計値を基準とした場合の、本校の様子。



《現状把握》

本校の国語および数学の平均正答率は、東京都・全国の結果より高い数値が出ている。国語：領域別、問題形式（選択式、短答式、記述式）のすべての項目において、東京都・全国の結果を上回った。数学：東京都方式の習熟度別指導のガイドラインを参考に、習熟度別のクラス編成を行っている。既習内容を繰り返し指導し、知識・技能を定着させる取り組みや、机間指導の機会を充実させたり、扱う問題の難易度を工夫したことに、成果があったと考えられる。

《授業改善のポイント》

国語：領域別の、「話すこと・聞くこと」、「書くこと」、「読むこと」いずれも、東京都・全国の前年度より高い数値が出ているが、今後も単元ごとに習得した知識などを活用し、協同学習・発表などを行い、各領域の学力の定着を図る。特に「書くこと」の学習課題を継続して充実させる。数学：東京都や全国の前年度と同様に、「思考・判断・表現」の観点の平均正答率が低いことに、引き続き課題がある。今後も、習熟度別指導を継続することにより、すべてのクラスにおいて知識・技能の定着を徹底する。また、生徒が主体的に学習に取り組めるよう、習得した知識・技能を活用させる場面などの学習活動の充実を図る。

《チャートの特徴》

本校の国語および数学の平均正答率は、東京都と比較して、国語が3ポイント、数学が7.5ポイント上回っていた。一方で、「基本的な生活習慣」の領域では、全国と比較して肯定的回答が6ポイント低く、特に、「毎日、同じくらいの時刻に寝ていますか」という質問の肯定的回答が低かった。また、「主体的な学び」の領域において、「1、2年生のときに受けた授業では、各教科などで学んだことを生かしながら、自分の考えをまとめる活動を行いましたか」という質問等に対して、全国と比較して肯定的回答が11ポイント低かった。

《家庭・地域への働きかけ》

基本的な生活習慣および家庭学習の習慣づくりのため、十分な睡眠をとることと、スマートフォンやゲームなどを利用する場合は、ご家庭でルールを決め、使用する時間やアプリなどを保護者が管理することのご協力をお願いする。